

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和5年8月22日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和5年8月8日（火） 14時35分～15時10分
開催場所	庁議室
出席者職氏名	〔担当部課〕 近藤子ども・健康部長、杉田保育課長、飯田子ども支援課長、高橋保育課主査、平間子ども支援課主査 〔政策推進会議メンバー〕 村山総合行政部長、豊島総務部長、松永市長公室長、尾崎人事課長、川幡財政課長、松田政策推進課長 〔関係部課〕 渋谷公共施設マネジメント室長 (計12人)
欠席者職氏名	 (計0人)
説明員職氏名	杉田保育課長、飯田子ども支援課長 (計2人)
議題	公立保育園の適正配置について
結果	第3期子ども・子育て支援事業計画への位置づけとし、スケジュールを再度検討する。
事務局職員職氏名	小高政策推進課主査、矢野政策推進課主任
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 審議事項（政策推進会議メンバーはメンバーと表記する。）

<公立保育園の適正配置について>

・杉田保育課長より「志木市における公立保育園の在り方に関する方針」にかかる方針変更について、飯田子ども支援課長より「子育て支援センターについて」概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

<「志木市における公立保育園の在り方に関する方針」にかかる方針変更について>

「志木市における公立保育園の在り方に関する方針」（令和3年10月）にて、北美保育園の建替えを行い、新たな北美保育園に子育て支援センターを整備するとしていたが、これを子育て支援センターの整備ではなく、地域に開かれた定期的な預かり保育や多様なニーズに対応する一時保育を行う、地域親子園を整備する方針への変更を行いたい。毎週曜日を決めて継続的に預かることにより、子どもの発達を保護者とともに確認したり、育児相談に乗ったりすることで、保護者の不安解消や自己肯定感を高める等、保育課、子ども支援課、健康増進センターで連携し、子育てを楽しみと思えるようにサポートしていく。

また、いろは保育園のマネジメント方策については、令和11年度までに決定とあるが、いろは保育園は改修工事を行い存続する方針とし、いろは子育て支援センターについても継続するとともに、医療的ケア児の対応など配慮を要する児童の保育や保育の総合調整など、モデル園的機能を担う園とすることを検討している。

<子育て支援センターについて>

現在の子育て支援センターでは、育児に対して問題意識を高く持って利用していただいている方が多いが、一方で自ら積極的に外に出向くことが難しい家庭への支援も検討する必要がある。北美保育園の再開園に伴い、子育て支援センターを新たに設置することとしていたが、少子化傾向にあることから、現在以上に利用者が増加することは見込めない。現在の宗岡地区の利用者については、宗岡子育て支援センターというは子育て支援センターを存続させることで充足すると判断した。新たに設置は行わず、出張子育て支援センターを実施し地理的な課題を補完することを考えている。

スケジュールについては以下の通り。

令和 5 年度

9月 児童福祉審議会へ諮問

1月～2月 意見公募手続制度実施

令和 6 年度 北美保育園設計

令和 7 年度 北美保育園工事入札

令和 8 年度 北美保育園解体・建設（～9年度）

令和 9 年度 新児童センター・子育て支援センター（複合施設内）

いろは保育園大規模改修

令和10年度 いろは保育園リニューアルオープン

メンバー：国の行政計画の策定に関する指針にて、計画の乱立を防ぐため、計画の終了時期に併せて見直しを推奨しているところであるが、方針の変更ではなく、現在策定を進めている第3期子ども・子育て支援事業計画に位置付けるのはどうか。

担当部課：北美保育園について令和6年度の設計を予定しているため、令和7年策定予定の第3期計画では間に合わない。

メンバー：子育て支援センターと地域親子園の違いはなにか。

担当部課：子育て支援センターは親子で利用する場所。地域親子園での定期的な預かり保育は、親をケアするものである。

メンバー：子育て支援センターに地域親子園のような機能を入れることはできないのか。

担当部課：子育て支援センターでは預かり保育はできない。

メンバー：預かり保育は、国が検討している「こども誰でも通園制度」で対応できないのか。子育て支援センターが宗岡地区に1箇所では少ないと感じる。

担当部課：宗岡公民館や秋ヶ瀬スポーツセンターでの出張子育て支援センターなどで補完していくことを検討している。幸町・館地区においても、西原保育園が令和7年度に閉園予定であるが、同設されていた西原子育て支援センター「まんまある」利用者を、同地区子育て支援センター「めばえ」だけでは補いきれないという課題がある。こちらも同様に補完方法を検討する。

メンバー：閉園した西原保育園を民間保育園が居抜きで使用するという話はあるか。

担当部課：現在のところ話はない。待機児童が少なくなっているため、民間保育園が入ったとしても既存園と対象児童の取り合いになったり、市外の児童が入園することになったりすると考えられる。

メンバー：地域親子園は一般財源事業か。補助金等はあるのか。

担当部課：モデル事業として補助金があるため手を上げる予定である。定期通園はまだ県内の自治体に取り組んでいないため、来年度実施すれば志木市が県内初となる可能性もある。在宅の子ども保育園で支援を行っていかねばならない。リフレッシュ保育の活用までたどり着かない親子のケアを、地域親子園の定期的預かり保育でしていきたい。

メンバー：子どもの数は減少しており、民間保育園にも空きがある状態だが、市で新たに事業を展開する必要があるのか。民間保育園で一時保育を増やしてもらうような取組はできないのか。

担当部課：まず公立保育園である北美保育園・西原保育園で実施し、そのノウハウを民間保育園に共有することで、将来的には民間保育園でも取り組んでいただくことを想定している。

メンバー：北美保育園は令和6年度設計予定とあるが、令和7年度設計では間に合わないのか。令和7年度設計であれば第3期の計画と併せることができる。

担当部課：いろは保育園の改修工事期間中の園児の受入れ調整等を勘案し、このスケジュールとなったが再検討する。

メンバー：いろは保育園は半年での改修とのことだが、大規模改修は検討したか。長く建物を持たせるのであれば、大規模改修の方が良いのではないか。

メンバー：公立保育園の役割を鑑み、待機児童が減っている事実も考えていかななくてはならない。また、民間保育園の運営を圧迫してもいけない。

担当部課：現在と同じ規模にするのか、少なくして一時保育を増やしていくのか、園の規模は考える必要がある。

メンバー：第3期子ども・子育て支援事業計画を策定する際の調査時に園数等も含めて再検討すること。いろは保育園を改修する場合は、半年間での改修が可能なのか。スケジュールを再検討した方が良い。

○結論

第3期子ども・子育て支援事業計画への位置付けとし、スケジュールを再度検討すること。

3 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。